

連載第16回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに

横浜市会 第3回定例会 議会報告②

小児医療費助成

小学6年まで拡大！

～平成29年4月より

平成4年以來、
公明党横浜市会議員団が一貫して制度拡充を求め続けてきた小児医療費助成制度。横浜市では昨年10月に、病院医療費の自己負担が無料になる助成の対象が、小学1年生から小学3年生まで拡大されたばかりです（入院医療費は中学3年生まで助成）。しかし、今回の条例改正で、平成29年4月より助成の対象が、さらに小学6年生まで拡大されることになりました。

Q.一部、負担金があるとのことですが。

A.今回拡大される小学4・5・6年生について



横浜市議員

たけのうち猛

＜ご相談・ご連絡先＞

公明党金沢支部事務所：

金沢区富岡西 3-38-1-101

TEL：080-9804-9782

FAX：045-345-4345

✉ info@takenouchi-takeshi.com

http://www.takenouchi-takeshi.com/

では、1回の診察で上限500円の自己負担が求められます。しかし、院外薬局での薬の処方も無料となり、現状の医療保険制度の3割負担からは大幅に軽減されることとなります（保護者が市民税非課税の場合、新たに助成対象となる小学4・5・6年生も全額助成となります）。

Q.子育て世帯の大幅な負担軽減となり、ありがたいですね。

A.今回の改正は私共が考える「中学3年生までの拡大」と「所得制限の撤廃」、「全額助成」の要望が達成されるまでのステップアップに過ぎないと考えています。

子育て支援策の中で重要な役割を担っている小児医療費助成は、本来、全国一律、どこに住んでも同じであるべきものと考えていますので、国に対しては、各自自治体が実施する医療費助成制度の安定運営と拡充に向けて「環境整備の充実を要望しつつ」、「子育てしやすい横浜」を目指し、経済的負担の心配がななく、安心して必要な医療が受けられるよう、さらなる小児医療費助成制度の充実を図って参ります。

Q.子育て世帯の大幅な負担軽減となり、ありがたいですね。

A.今回の改正は私共が考える「中学3年生までの拡大」と「所得